

課題	基本計画	取組方針	新No	取組の方向性	具体的な取組	審議会・懇談会・調査等でのご意見	第3次ビジョン アクションプラン
【課題1】 減少する 事業者への 対応 (創業者)	33-2 個店・商店街等 の活性化	【取組方針 1】 新たに活躍する 事業者を増やす	1-1	創業機運の醸成	○創業支援セミナーの開催 ・創業を検討する方を対象とした市主催セミナー。受講者同士の交流促進も含む。	(懇談会・ふじみ野 No2,3) 創業相談に至る前段階での創業体験を聞ける場・知れる場	旧:1-2 創業支援セミナーの開催
	○ 県イノベーション創出施設(渋沢MIX)との連携・活用 ・ 埼玉県創業支援施設(令和7年度開設)、企業・起業家等の交流・マッチングの創出拠点				<県のイノベーション拠点施設として開設>	-	
	33-3 創業支援の充 実		1-2	創業のための相談	○創業パネル展の開催(日本政策金融公庫など、金融機関との連携) ・創業のノウハウや市支援制度、創業事例など、創業のためのヒントの展示など	(懇談会・ふじみ野 No2,3) 創業相談に至る前段階での創業体験を聞ける場・知れる場	-
			1-3	創業に向けた支援	○創業における支援【産業振興基金活用事業】 ・創業にかかる設備投資等(1事業所改装、2販路開拓、3商号(設立)登記)への助成(創業者支援補助金)) ・ 創業資金調達のための融資利子への一部助成(新規創業者支援利子補給金)	(懇談会・ふじみ野 No,6) 資金、場所、設備、地域の雰囲気など、チャレンジしたいという環境を整える	旧:1-4 空き店舗、空き家情報の紹介・支援(空き店舗補助金→創業者支援補助金へ対象を拡大し変更したため)
					○空き店舗の不動産情報等の発信 ・創業者へ向けた地元不動産業の協力による空き店舗情報や 商店会の情報などの発信強化	<市の既存事業として取組中> (商業等実態調査)駅前エリア、鶴瀬駅東通り線(鶴瀬駅～ららぽーと間)に店舗が増えて賑わうとよい。 (懇談会・ふじみ野No,13) 飲食店にとって、ふじみ野駅周辺は開店しやすい空き店舗があまりない。 (懇談会・鶴瀬No3,4,25,32) 創業者への商店会の紹介、空き店舗の紹介。鶴瀬駅・ららぽーと間で買い物 が楽しめる。ららぽーとへの人流の活用。 (懇談会・みずほ台 No,16) 空き店舗を活かすマッチング支援や家賃補助などがあると良い。	旧:1-4 空き店舗、空き家情報の紹介・支援
1-4	出店機会の創出	○チャレンジショップ、実証実験などへの支援 ・創業を始めるきっかけとなるチャレンジ店舗スペースへの支援について検討 ・ 商業インキュベーション施設整備(県賑わい創出事業補助金)の活用	(懇談会・ふじみ野 No,1) チャレンジショップ利用の創業であっても創業コストがかかるのは変わらないため、初めから普通に開業へ向けて資金利用した方が効率が良いという考えもある。 (懇談会・ふじみ野 No,6) 資金、場所、設備、地域の雰囲気など、チャレンジしたいという環境を整える必要がある。	旧:1-5 チャレンジ・実験検証のための出店機会の創出			
【課題1】 減少する 事業者への 対応 (既存事業者)	33-2 個店・商店街等 の活性化	【取組方針 2】 意欲ある事業者 の成長を支援する	2-1	持続的経営のための相談	○経営・創業相談支援 <再掲> ・事業計画や課題解決など、経営に必要な情報を専門アドバイザーによる伴奏型相談	(懇談会・鶴瀬No,1)ビジネスという面では淘汰はあるもの。市としては、頑張る個人・中小企業を支援し強い事業者を増やすことに重点を置くことが重要。	旧:1-1 創業・持続的経営のための相談等の実施 (旧4-5:経営革新等各種セミナーの開催)
			2-2	持続的経営への支援	○経営改善の取組への支援【産業振興基金活用事業】 ・経営課題に対する改善取組への助成(1経営改善、2研究開発、3人材育成、4販路開拓、5 DX化＝テレワーク、生産性向上支援、6設備導入、7経営革新)(中小企業チャレンジ支援事業補助金)	(懇談会・鶴瀬No,1) 同上 (懇談会・ふじみ野 No,7) (懇談会・鶴瀬No38) 補助金について、伝わりやすい・わかりやすい周知方法の検討。 (懇談会・みずほ台 No,14) 複数の店舗が各自のSNSを利用して、相互宣伝を実施(SNSなど)による発信強化への支援)	(経営改善等支援は記載なし) 旧:2-2 キャッシュレス化の推進 旧:3-2 DX化への支援
	○キャッシュレス決済サービスの導入支援【産業振興基金活用事業】 ・新たな決済サービス導入への助成(中小企業チャレンジ支援事業補助金 5 DX化)				(商業等実態調査)市民のキャッシュレスのニーズと事業者の対応の回答の間にギャップあり。 (懇談会・鶴瀬No,36) キャッシュレス決済の増加。 (懇談会・ふじみ野 No,8) 飲食店でキャッシュレスが全体の5割、既に必要不可欠。	旧:2-2 キャッシュレス化の推進 旧:3-2 DX化への支援	
	○経営革新計画、先端設備等導入計画等の策定支援 ・新たな取組を検討する経営革新計画、労働生産性向上や賃上げ促進のため先端設備等導入計画など策定にかかる相談支援				<市の既存事業として取組中>	(先端設備)旧:3-2DX化への支援	
	○ 商工会への支援・連携強化 ・ 経営改善等支援事業など、事業者支援を行う商工会への運営助成(商工会事業補助金) ・ 会員増加に向けた取り組みへの支援				<市の既存支援として取組中> 商工会や商店会など、未加入事業者へのアプローチ(チェーン店、創業者など、加入メリットなど周知啓発)	(旧:5-2 事業継続計画への支援)	
	○ 市内建設業等の運営支援 ・ 市内建設業等を利用した市民のリフォーム助成(住み続け宅なる住宅改修工事補助金)				<市の既存事業として取組中>	-	
	2-3		事業者の付加価値の向上	○価値共創プラットフォーム『SDGsフジミライテラス』・県SDGsパートナーへの参加促進 ・SDGs未来都市(総務省認定)にかかる地域貢献等の共創事業。社会貢献・地域貢献を目指した事業機会の創出・相互啓発など、参加による事業者の付加価値向上【政策企画課】	(懇談会・みずほ台 No,5) 価値共創プラットフォーム『SDGsフジミライテラス』との連携	-	
				○ 環境負荷低減の取組み支援 ・ 太陽光発電システム、電気自動車などの導入による持続可能な取組への助成(再生可能エネルギー機器等導入事業者補助金、次世代自動車等導入促進補助金)【環境課】	<市の既存事業として取組中>	-	
【課題2】 多様化する 消費行動 への対応	33-1 買い物利便性 の向上	【取組方針 3】 多様な消費ニーズにこたえる	3-1	キャッシュレス化の推進	○DX化に向けた相談支援 ・SNS活用セミナー、キャッシュレス導入に関する情報周知など	(懇談会・鶴瀬 No,33) 生成AIなどのサブスク代金の補助などがあるとよい。 (懇談会・ふじみ野 No,8) 飲食店でキャッシュレスが全体の5割、既に必要不可欠。 (懇談会・みずほ台 No,14) 複数の店舗が各自のSNSを利用して、相互宣伝を実施したい。	旧:3-2DX化への支援 旧:2-2 キャッシュレス化の推進 旧:2-5 SNS等、新たな情報伝達の仕組みの活用
					○キャッシュレス決済サービスの導入支援 <再掲> ・新たに決済サービス導入への助成(中小企業チャレンジ支援事業補助金 5 DX化)	(商業等実態調査)市民のキャッシュレスのニーズと事業者の対応の回答の間にギャップあり。 (懇談会・鶴瀬No,36) キャッシュレス決済の増加。 (懇談会・ふじみ野 No,8) 飲食店でキャッシュレスが全体の5割、既に必要不可欠。	
			3-2	販売チャネルの拡大促進	○宅配サービスによる買い物支援 ・買い物弱者など、市内事業者による宅配情報冊子の提供(宅配電話帳・HP掲載)	<市の既存事業として取組中>	旧:2-1 宅配電話帳の作成・更新
					○ 移動販売(うえたん号)の実施業者との連携 【高齢者福祉課】 ・ 高齢者の見守りなどの役割も兼ねた買い物不便地域への移動販売	<市の既存事業として取組中(市・社協・事業者により連携)>	(旧:2-3 店舗外での営業活動の展開)
			3-3	地元産品の消費機会の拡大促進	○ 特産品・地元産品の普及促進、新たな特産品の発掘 ・ 地域イベントなどでの特産品・地域産品の販売を通じた普及促進など ○ ふるさと納税(まちづくり寄付)制度の活用 【政策企画課】 ・ 返礼品の拡充に取り組み、事業者の販路拡大	(商業等実態調査)市民アンケート(問9:商店会に取り組んでほしいこと＝4位「地元農産物の販売15.6%」) <市の既存事業として取組中>	- -

※第3次ビジョン(旧:1-3)「ビジネス・創業コンペを通じてのニュービジネスの誘発・顕彰」…ビジネスコンペは県(広域)で実施されているケースが多く、市レベルでは範囲が狭く、ニーズが低いため記載を削除。

課題	基本計画	取組方針	新No	取組の方向性	具体的な取組	審議会・懇談会・調査等でのご意見	第3次ビジョン アクションプラン
【課題3】 地域商業の 在り方の検討	33-2 商店街・個店の 活性化	【取組方針 4】 まちの魅力と賑 わいをつくる	4-1	賑わいの創出と地域 交流の促進	○地域活性化イベントへの支援・拡充 ・商店会等(商店会・商連・活性研など)の地域単位の賑わいづくり事業の運営助成(商店街活性化推進事業補助金)	(懇談会・鶴瀬No20) 補助要件の変更(複数回、増額など)を希望。 (懇談会・鶴瀬 No.18) 商店会では公園の減免が受けられない。 (懇談会・ふじみ野 No.5) 1日単位の公園利用料金の設定希望。(使用条件などの緩和) (懇談会・みずほ台 No.15) 商店会主催でも公園・公民館・小学校を利用したイベントを希望。 (懇談会・ふじみ野 No.12) 「まちゼミ(お店の人が講師となって専門知識や情報、コツを無料で受講者に伝える少人数ゼミ)」のような取り組みがあるといい。個店の魅力発信が重要。	旧4-3 賑わいと地域の個性づくりのためのイベント 旧2-4 商店主によるワンポイント講座の開催
					○ふるさと祭り(産業コーナー) ・市最大の活性化イベント 【協働推進課】	<市の既存事業として取組中>	-
					○商店会組織・事業者同士の連携の推進 ・広域連携による商店会イベントの支援(新規補助制度の創設検討)	(懇談会・鶴瀬No15,16,17) 商店会同士の横断的協力によるイベント、商業者以外も含めた事業者の集まりなど。 (懇談会・ふじみ野 No.15) こども商店街など定期イベントを通じた販売スタイル・収益化モデルの構築。 (懇談会・みずほ台 No.2,3,4) 商店会同士の意見交換、共通課題の洗い出しとノウハウの共有。	旧4-3 賑わいと地域の個性づくりのためのイベント
					○市の賑わい事業との連携強化 ・デジタルサイネージ、文化イベント等の賑わい事業の活用など	(懇談会・鶴瀬No.7) 商店会と交通事業者との連携強化(商店街にシェアサイクルステーション設置による収益化と、来訪者を増加させる仕組みづくり (懇談会・鶴瀬No.11,37) 駅前での情報発信、デジタルサイネージの活用など	-
					○商店街の施設整備への支援 ・駐輪場や広場など、賑わいづくり施設の修繕・整備への助成(商店街環境整備補助金)	<市の既存事業として取組中>	-
					○農商工連携事業の実施 ・いい富士見の日「ふじみマーケット」ららぽーと連携事業 (ふじみ産業元気づくり事業補助金) 【産業経済課】【農業振興課】	(審議会) イベントなどにおける農産物の販売など、様々な場での6次化産業をすすめられると良い。	旧4-2 大型商業施設との協働体制の創出
					○大学や地域と事業者の連携・交流の促進 ・近隣大学のフィールドワークなどへの協力	<市の既存事業として取組中>	旧3-1 商業者と地域団体等との連携支援
					○市民・地域活動団体の参画による地域魅力づくり活動・イベントの多様化支援 ・商店会などの地域イベントなどとの連携・参画誘発	(懇談会・鶴瀬No.22) イベントの担い手不足	(旧3-1 商業者と地域団体等との連携支援)
					○新たな地域商工業イベントへの支援 ・新たな組織体による活性化事業の立ち上げへの助成(地域商工業イベントスタート支援事業補助金)	<市の既存事業として取組中>	旧4-1 新たな推進体制の仕組みづくり
			4-2	地域課題解決へ向 けた取組の強化	○地域の安全・安心に貢献する取組、地域課題解決のための取組への支援 ・商店会街路灯の維持管理への助成(商店街等環境整備事業補助金) ・防犯カメラ設置の促進 【協働推進課】	(懇談会・鶴瀬No.30) 商店会街路灯は地域の安全対策として、商店会が維持していることの周知強化。 (懇談会・みずほ台 No.17) 商店会街路灯は安全面・防犯面の役割あり。	旧5-1 地域の安全・安心に貢献する取組への支援
					○商店会等の課題解決への支援 ・商店会等の自立的運営を目指す取組み、地域の魅力向上に資する取組みに向けた支援(運営相談・計画策定支援など)、県支援制度(専門家派遣など)の活用 ・商店街組織の再編など、課題への解決支援	(懇談会・みずほ台 No.7) アドバイザーによるコンサルタントなど意見が欲しい。 (懇談会・みずほ台 No.10) 人手不足の課題に対し、商店会の準会員(サポーター)制度による人材確保 (懇談会・鶴瀬 No.28)(懇談会・みずほ台 No.9) 商工会や商店会など、未加入事業者へのアプローチ(チェーン店、創業者など、加入メリットなど周知啓発する。	(商店会組織の再編) 旧4-1 新たな推進体制の仕組みづくり
					○事業者と行政による非常時に備えた防災協定の推進 【危機管理課】	<市の既存事業として取組中>	旧5-1 地域の安全・安心に貢献する取組への支援
			4-3	地域資源(特色ある 公園など)を活用した 魅力の発信	○シティプロモーション戦略との連携 【シティプロモーション課】 ・フィルムコミッション、ココシル、PR大使の積極的な活用	<市の既存事業として取組中>	旧4-4 地域資源を活用した来訪魅力の強化・発信
					○地域資源(交流拠点である公共施設等)の活用 ・交流拠点を活用した各種商業団体によるイベント開催支援 ・びん沼自然公園、大御庵(おおごあん)の杜などの魅力の発信 【シティプロモーション課】	(審議会) 歴史的価値の高い公園を活用し、市外へ向けたPRが必要。 (懇談会・鶴瀬 No.18、ふじみ野 No.5、みずほ台 No.15 まとめ) 商店会が行う地域活性化イベントを公園で実施しやすくしてほしい。 <市の既存事業として取組中>シェアサイクルステーションの設置(回遊性を高めるため、利便性の向上)	-
【課題4】 事業者間・ 産業間の 連携の推進	34-1 良好なモノづく りの環境整 34-2 新たな工業基 盤の強化	【取組方針 5】 事業者相互のつ ながりをつくる	5-1	産業団地進出企業 等との連携の創出	○産業団地進出企業と市内事業者等との取引・連携の推進 ・市、商工会などの交流機会の開催による新規商取引の創出、地産地消の推進など【農業振興課】	(懇談会・鶴瀬 No.34) 産業団地進出企業との連携を希望(商工会などを通じた異業種交流会、BtoBマッチングなど) (市と進出企業の意見交換会) 既存事業者との取引ができるよう要望	-
					○産業観光資源との活用 ・産業団地進出企業の施設を活用(工場見学など)した来訪者の増加	(市と進出企業の意見交換会) 工場見学などができるよう要望	-
					○行政との官民連携 ・埼玉版スーパーシティプロジェクト(エントリー予定)、災害協定などの地域貢献の推進 【都市計画課・危機管理課】	(埼玉県企業局による産業団地分譲の審査項目)災害時の地域貢献への取組	(災害協定)旧5-1 地域の安全・安心に貢献する取組への支援
					○水谷柳瀬川ゾーンの土地利用推進 【まちづくり推進課】 ・ヒト・モノ・コトの集積による雇用機会の確保など	上位計画(第1期基本計画)に位置付けあり(基本政策32)	-
			5-2	大型商業施設との連 携の促進	○大型商業施設(広域商業拠点)との連携事業の実施(ふじみ産業元気づくり事業補助金<再掲>) ・いい富士見の日「ふじみマーケット」の開催 及び新たな連携事業の検討	(懇談会・みずほ台No.6) ららぽーとの集客力の活用すべき。 (懇談会・みずほ台No.1) ふじみマーケットの見直しに伴い、新たな広域・共同のイベントを検討したい。	旧4-2 大型商業施設との協働体制の創出
			5-3	都市間交流の機会 の創出	○来訪者向けの体験型イベントの実施の検討 ・農業体験などコト消費のニーズに対応した来訪の促進の検討	(審議会) 夏野菜の収穫体験や田植え入れ替えの体験など、田んぼも畑もない、遊ぶ場所もない都民の方等にPRするとよいのではないかと。	-
					○産業観光資源との活用<再掲> ・産業団地進出企業の施設を活用(工場見学など)した来訪者の増加	<再掲> <市の既存事業として取組中>シェアサイクルステーションの設置(回遊性を高めるため、利便性の向上)	-
【課題5】 人材確保と 多様な働き 方の推進	36-1 労働環境の整 備 36-2 あらゆる方の就 労を促進 34-2 新たな工業基 盤の強化	【取組方針 6】 職住近接の暮ら しを支える	6-1	働く場の創出	○産業団地進出企業等による市内雇用増大へ向けた情報連携 ・市内優先雇用など、人材確保に向けた調整	(市と進出企業の意見交換会) 市内優先雇用について要望	-
			6-2	多様な就労ニーズへ の対応	○ハローワークとの連携 ・ふるさとハローワークの共同運営や、就職相談会などの開催	<市の既存事業として取組中>	-
					○埼玉しごとサポート・女性キャリアセンター(県)等事業の連携・活用 ・就職面接会の共同開催、アドバイザー派遣などを通じ、セカンドキャリア充実(高齢者の生きがい、子育てが一段落した世代など)多様な方が働きやすい環境づくり	〃	-
					○内職相談・就職支援講座の開催 ・内職相談員による、在宅での就労希望者への内職仕事のあっ旋・相談、就職支援講座(市主催)など	〃	-
			6-3	働きやすい環境づく り	○先端設備等導入計画の認定<再掲> ・設備投資を通じて労働生産性の向上や、労働環境を改善する事業者向け支援	〃	-
					○多様な働き方実践企業認定制度の促進 ・埼玉県が認定する多様な働き方実践企業となる市内事業者の増加を推進	〃	-
					○雇用拡大事業者への支援 ・新たな雇用を行った中小企業への退職金共済掛金への助成(中小企業退職金共済掛金等補助金)	〃	-